

還帰して揃って



前庭には花道が作られていた

27日は朝から雨模様で、彦根にも冷たい雨が降り続いていた。野球部のバスが到着する午後4時を前に、第1本館1階の保健室付近には学校に残っていた野球部員や部員の保護者、プラスバンド部、チアリーディング部など多くの人々

中村さんと部員1人1人が握手を交わす



18日に学校を出発し、26日に千葉県習志野高校と試合を行った野球部員たちが27日午後に無事帰校した。桜が咲き始めた前庭には野球部を迎える生徒達でいっぱいだった。

多くの人が出迎え

27日は朝から雨模様で、彦根にも冷たい雨が降り続いていた。野球部のバスが到着する午後4時を前に、第1本館1階の保健室付近には学校に残っていた野球部員や部員の保護者、プラスバンド部、チアリーディング部など多くの人々

が集まり、彼らの到着を待っていた。まず最初に、コーチの村中隆之先生が運転するトラックが学校に入り、その後彼らを乗せたバスが校内へと進入してきた。大勢の人々が手を振ったり、拍手をしたりして出迎える中、56年前に甲子園に出場された金龜会会



「僕らの光」を歌う野球部

「ただいま」の天倉唱

長の中村善一郎氏がバスから降りてくる部員たち1人1人を握手で迎えられた。バスから降りた選手たちは出迎えの生徒たちの前に整列し、監督の今井義尚先生と主将の新谷直弘君がそれぞれ「応援ありがとうございました」という挨拶をした。今井先生と新谷君がプラスバンド部、応援団、チア部に応援への感謝の言葉を伝えた。

新谷君からの挨拶が終わったあと、先日本庄礼佳さん(26)が野球部員を思い作詞、作曲して彼らに贈られた「僕らの光」を野球部員全員がサプライズで歌った。彼らを出迎えていた本庄さんは少し照れくさそうに彼らの歌声に耳を傾け、「あの歌をそんなに覚えてもらっているとは思わなかった」とコメントしてくれた。リーダーとして活躍した藤野みさきさん(26)も彼らの歌声を聞いた。藤野さんは「前にも本庄さんの歌を聞いたが、こういう場面に聞けるとは思わなかった。彼らには今回の試合の悔しさを夏につなげてほしい」と改めて彼らにエールを送ってくれた。



速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号